

令和8年度 志木市立志木第二小学校 学校経営方針

R7 年度変更は赤字 R7 新規は青字 R8 新規はオレンジ字

令和8年4月2日

校長 佐々木 幸

1 本校の学校教育目標

「共生」思いやりのある子 「自主」進んで学ぶ子 「自律」健やかな子

2 基本理念

生き生きと児童の瞳輝き 笑顔あふれる志木二小

3 目指す学校像

- ・子供の学びを地域とともに支える学校

4 目指す児童像

- ・夢や希望をもち、粘り強く挑戦を続ける子
- ・多様性を認め合い、共に高め合いながら成長する子
- ・自信や誇りをもって社会に貢献し、未来を拓く子

5 目指す教師像

「学び実践し続ける教職員」

- ・子供の姿を大事にしながら、指導力を磨き続ける教職員
- ・互いに切磋琢磨し、同僚性を重んじる教職員
- ・児童、保護者、地域の方から信頼される教職員

志木第二中学校区小中一貫教育推進計画（令和7年度より実施）より

教育目標

「共生」 思いやりのある子
「自主」 進んで学ぶ子
「自律」 健やかな子

目指す学校像

子供の学びを
地域とともに支える学校

目指す児童生徒像

- ・夢や希望をもち、粘り強く
挑戦を続ける子
- ・多様性を認め合い、共に高
め合いながら成長する子
- ・自信や誇りをもって社会
に貢献し、未来を拓く子

目指す教師像

- 「学び実践し続ける教職員」
- ・子供の姿を大事にしながら、
指導力を磨き続ける教職員
 - ・互いに切磋琢磨し、同僚性を
重んじる教職員
 - ・子供、保護者、地域の方から
信頼される教職員

6 経営の基本方針

児童一人一人が生き生きと活動し、知・徳・体をバランスよく身に付け、確実に伸ばすことのできる、活力に満ちた質の高い学校づくりを目指す。

(1) つなぐ = connect

今年度は、59年間の志木第二小学校閉校の最後の1年、そして、令和9年度義務教育学校「志木の森学園」開校への最後の準備の年であることから、次の3点について「つなぐ」ことを特に強く意識する。

①「人」→目の前の児童、保護者、教職員、地域。

志木の森学園の児童・生徒、教職員、地域。

②「時間」→令和8年度の毎日。59年間の歴史。令和9年度から始まる未来。

③「思い」→開校時の思い。開校から今までの思い。今の思い。令和9年度からの思い。

→6年生を送る会の中である「運営委員引継ぎ式」のテーマ = つなぐ

志木二中学区のグランドデザイン = connect

(2) 豊かな学びで未来を拓く

学習指導要領の確実な実施とともに、カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上、主体的対話的で深い学びによる授業改善などを通し、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組む。

(3) 学ぶにふさわしい学習環境

児童が、安心して学べる学校づくりに向け、教育環境の点検及び整備に取り組み、インクルーシブ教育の推進や、いじめ・不登校の早期対応・早期解消を目指し、決して誰一人取り残さない教育の推進に努める。

(4) 学校・家庭・地域の連携

地域とともにある学校づくりを推進するため、HP・学級通信等を通し、積極的に情報を発信するとともに、コミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域・関係機関との連携を一層深める。

(5) リスペクトとケアにあふれる学校

学校にかかわる全ての人（児童・保護者・地域・教職員）が認められ、存在価値があることを実感できるために、お互いのよさを見つけリスペクトし合い、ケアすること（相互に手助けをすること・相互に受けとめること・相互に聞き取ることといった共感的な関わり = お互い様）で安心感や励ましのある集団を目指す。

(6) 児童も職員もさらに瞳輝く学校へ

信頼される学校職員であるため、教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質の向上に取り組むとともに、ワークライフバランス（時間・教育技術バンク・指導力の向上）を大切に、職員の健康と安全に配慮した学校運営を推進する。

7 令和8年度の重点（本校の諸課題 より）

（1）非認知能力の育成

- ①特別活動の充実・・・「他者とつながる力」の育成
- ②総合的な学習の時間の充実・・・「自分を高める力」の育成
- ③道徳教育の充実・・・「自分と向き合う力」の育成
- ④読書活動の充実・・・「想像力・先を見通す力」の育成
- ⑤学級経営の充実・・・「所属感・社会性」の育成

※点数にできない力(自己効力感・意欲・向上心・自信・自尊感情・自制心・忍耐力・回復力・共感性・コミュニケーション力・協調性……など)の育成に取り組む。

（2）小中一貫校義務教育学校への円滑な移行

- ①志木四小との同学年交流や児童会・委員会活動等の交流、及び教職員間の交流を、意図的・計画的に行い、小小連携を強化していく。(特に、1～4年生において。)
- ②志木二中との、学習指導・生徒指導・特別支援教育における連携・交流を発展させるとともに、教職員間の交流を計画的に実施する。

※令和7年度から小中一貫教育の実施。志木第二中学校区の3校で、連携・交流を深め、一体となって児童生徒の育成に努める。

8 令和8年度のチャレンジ（学校評価・今日的教育課題 より）

（1）誰一人取り残さない学校

- ・すべての子供たちの可能性を最大限に引き出す教育の実践。
- ・それぞれが違っていることが当たり前だという土台に立ち、多様性をお互いが認め合い、お互いを尊重し合える支持的風土の醸成。
- ・保護者、地域、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、関係機関とのさらなる連携。

（2）体力向上チャレンジ

- ・埼玉県目標「運動好きの子供を増やす」ことを目指す授業の実践
- ・運動をするきっかけづくり（授業・休み時間・体育集会等）

（3）地域・保護者との持続可能な強固な連携

- ・保護者・地域ボランティア活動への要請と実施、並びにPTA（今年度閉会）との連携。(持続可能なボランティア活動への進化)